



十人十色

2020, 6, 11

縄瀬 保育園

山元 紀代美

NO4

(みんなちがってみんないい!)

*おいしかったね!

地域の方から、にらを沢山いただきました。「うーん、どう料理したものか？」栄養士は頭を悩ませます。「にら」って、子どもに食べさせるには、難しい食材です。においが強いし、緑だし・・・家では「餃子」「がね」「野菜炒め」味噌汁にいれるか?・・・これはたべんやろ! すごく悩み、「チヂミ」を作ることになりました。でも、これまでに「チヂミ」を作ったことのない栄養士・・・インターネットで調べまくり。「家でも作ってみました。どうですか?」と試食をしてほしいと持ってきました。「どれどれ・・・」と口にするとモチモチしていて、「まあ美味しい」嬉しくなって他の職員にも「食べてみて!」と、さも自分が作ったかのように持っていく園長。職員にも好評! ざわつく子ども達。「なに食べてんの?」「みんなにもおすそわけね!」と言いながら一口ずつ口に入れてあげると、子ども達からも、「おいしい!」と大絶賛!

おやつまで、1時間半くらいあります。廊下で着替えをしながら、「今日のおやつはおいしいのだよ!」と楽しみにしている女の子。もちろんその声は台所の栄養士の耳にも聞こえています。どんな気持ちなのかなあと? パソコンに向かいながら、子どものやり取りを聞く園長。

さあ、おやつです。みんなわくわく。ホットプレートで目の前で焼いて貰い、ほかほかの出来立てをいただきます。「うまーい!」「おかわりある?」列を作っておかわりを待つ子ども達。「おいしかった!」とごちそうさまをし、「また、つくってね!」とおねだりをしていました。今日のおやつの時の出来事でした。

子どもの「おいしかったよ!」「またつくってね!」の言葉ほど栄養士をやる気にさせ、成長させる言葉はありません。子どもだけじゃないんだよな。職員も褒められることで自信と自己肯定感が育っているのだと嬉しく思うことでした。

未満児さんの職員も「今夜、チヂミを作ってみようかな・・・」とぼつり・・・。本日のレシピは、後日、給食展示のそばに準備しておきますので、ご家庭でも作ってみて下さいね。

石けんで手を洗う。

「石けんで手を洗う」簡単そうに思えるでしょう? 「石けんできちんと手を洗う」という事が今はとても大事な事です。この「きちんと」、洗えない子が意外と、多い! 保育園ではこれまで泡石けんを使ってきました。泡石けんはもともと泡の状態が出てきますので、本当に簡単でした。でも、この泡石けんの液が不足して、現在手に入らない状態です。そこで「石けん」を使って洗うことにしました。(小さいクラスは泡石けんを使っています。) 子ども達の様子を見ていると、意外や意外・・・

石けんの使い方が下手でし・・・うまく泡が立たない・・・なんてことでしょうか? 石けんを削って泡だて器で泡を作る遊びはみんな上手なのに・・・落とし穴でした。

再度見直しです。泡を立てるにはどうしたらいいのか・・・。もしかしたら、子ども達は泡石けんしか使ったことがなかったのかも・・・とってしまいました。(そうか! お風呂もボディシャンプーですもんね。) ひまわりクラスは、これから石けんを使った手洗いのやり方を学ばなければなあと担任と話したところでした。世の中が、便利になりすぎているんでしょうね。子ども達は「♪もしもしかめよ、かめさんよ!〜」と歌いながら手洗いを頑張っています。(Yくんも、とてもがんばっていました。)

